

(案)

男女共同参画に関する市民アンケート調査



ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、安城市のさらなる男女共同参画の推進を図るため、平成 29 年度に「第 4 次安城市男女共同参画プラン」を策定する予定です。

今回の調査は、市民の皆さまの男女共同参画に関する考えや実態などをお聞かせいただき、このプランに反映させることを目的として実施するものです。

回答は、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されるなど、回答された方にご迷惑をおかけするようなことはありません。

お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートは無作為抽出しておりますので、市からのアンケートのお願いが連続することがありますが、ご容赦ください。

平成 28 年 7 月

安城市長 神谷 学

この調査票は、「男女共同参画」に関する施策策定の目的だけに使われるもので、それ以外の目的に使うことはありません。

記入方法

1. 回答は、封筒のあて名のご本人のお考えでご記入ください。何らかのご事情によりご本人が記入できない場合には、家族の方などが代筆してください。
2. 平成 28 年 7 月 1 日現在の内容でご記入ください。
3. 記入は黒のボールペンまたは濃い鉛筆をお願いいたします。
4. 回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。また、記述を必要とする箇所は、ご記入ください。
5. 記入後は、同封の返信用封筒に入れ**8月○日(○)まで**に、ご返送ください。(切手は不要です。)

<お問い合わせ>

安城市役所 市民生活部 市民協働課 (担当: 澤田、満島)
電話 : 0566 (71) 2218 (ダイヤルイン)
FAX : 0566 (76) 1112
Eメール : kyodo@city.anjo.lg.jp

このページでは、「男女共同参画」についての解説を掲載しています。
ぜひ、読んでみてください。



男女共同参画ってどうして必要なの？

男女共同参画が推進されることで、「男は仕事、女は家庭」といった、固定的な性別役割分担にとらわれず、男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できるようになります。男女共同参画社会が実現することは、一人ひとりの豊かな人生につながるのです。

家庭では…

- 家族を構成する個人が、互いに協力し合うことによって、家族のパートナーシップが強化されます。
- 仕事と家庭の両立支援環境が整い、男性の家庭への参画も進むことによって、子育てや教育、介護を協力して行うことができます。

職場では…

- 女性の政策・方針決定過程への参画が進み、多様な人材が活躍することによって、経済活動の創造性が増し、生産性が向上します。
- 働き方の多様化が進み、誰もが働きやすい職場環境が確保されることによって、個人の能力が最大限に発揮されます。

地域では…

- 誰もが主体的に地域活動やボランティア等に参画することによって、地域コミュニティが強化されます。
- 地域の活性化や生活環境の改善、子どもたちが伸びやかに育つ環境が実現します。

一人ひとりの豊かな人生の実現

1 あなた(回答者)ご自身のことについておたずねします。

問1 性別 (どちらかに○)	1 男性	2 女性							
問2 年齢 (○は1つだけ)	1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代	5 60歳代	6 70歳以上			
問3 職業 (○は1つだけ)	1 会社員・公務員(常勤) 2 パート・アルバイト 3 派遣、契約社員 4 自営業・自由業・農業(家族従業者を含む) 5 専業主婦・専業主夫 6 学生 7 就業していない 8 その他()								
問4 婚姻状況 (○は1つだけ)	1 既婚(事実婚を含む) 2 離別・死別 3 未婚 4 その他()								
※問4で「1 既婚(事実婚を含む)」と回答した方のみ 問4-1 配偶者・パートナーの職業 (○は1つだけ)	1 会社員・公務員(常勤) 2 パート・アルバイト 3 派遣、契約社員 4 自営業・自由業・農業(家族従業者を含む) 5 専業主婦・専業主夫 6 学生 7 就業していない 8 その他()								
問5 子どもの有無 (○は1つだけ)	1 同居している子どもがいる 2 子どもはいるが同居していない 3 子どもはいない								
問6 家族構成 (○は1つだけ)	1 単身世帯(1人) 2 1世代世帯(夫婦のみ) 3 2世代世帯(親と子) 4 3世代世帯(親と子と孫) 5 その他()								
問7 お住まいの中学校区 (○は1つだけ) ※中学校区がわからない方は、()に町字名を書いてください。	1 安城南中学校	2 安城北中学校	3 明祥中学校	4 安城西中学校	5 桜井中学校	6 東山中学校	7 安祥中学校	8 篠目中学校	9 わからない()町

2 家庭生活についておたずねします。

問8 次にあげる考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれの項目で、○は1つずつ)

	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらと も言えな い	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない
A 男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよい	1	2	3	4	5
B 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
C 夫は、妻や子どもを引っ張っていく方がよい	1	2	3	4	5
D 女性は結婚したら、仕事や自分自身のことより、夫や子どもなど家族中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
E 男性は結婚したら、仕事や自分自身のことより、妻や子どもなど家族中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5

問9 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という子どもの育て方について、どのように考えますか。(○は1つだけ)

- 1 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい
- 2 男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよい
- 3 どちらとも言えない
- 4 その他 ()

問10 あなたが、家事・育児に携わる平日一日あたりの平均的な時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 まったく関わっていない | 2 30分未満 |
| 3 30分以上1時間未満 | 4 1時間以上2時間未満 |
| 5 2時間以上3時間未満 | 6 3時間以上5時間未満 |
| 7 5時間以上8時間未満 | 8 8時間以上 |

問 14 あなたは、職場で以下のような制度を使って休暇等を取ったことがありますか。
(A～Dのそれぞれの項目で、○は1つずつ)

	取 っ た こ と が あ る	取 り た か つ た が、 取 っ た こ と は な い	取 る 希 望 が な く、 取 っ た こ と は な い	今 ま で 必 要 と な っ た こ と が な い
A 育児休業（育児のために一定期間休業できる制度）	1	2	3	4
B 子の看護休暇（病気等の子どもを看護するための休暇）	1	2	3	4
C 介護休業（介護のために一定期間休業できる制度）	1	2	3	4
D 介護休暇（短期の介護のための休暇）	1	2	3	4

---> **<問 14 のA～Dのいずれかで「取りたかったが、取ったことはない」と答えた方におたずねします>**
問 14-1 取得することができなかった理由について、あなたの考えに近いものを選んでください。(○はいくつでも)

- 1 生計が成り立たなくなる（経済的に苦しくなる）から
- 2 職場に休める雰囲気がないから
- 3 休みをとると、昇進に影響するから
- 4 自分の仕事には代わり的人がいないから
- 5 一度休むと元の職場には戻れないから
- 6 法制度が整っていなかったから
- 7 その他（具体的に _____)

問 15 男性が育児や介護のための休業制度をとることを社会的に進めることについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つだけ)

- 1 進めるべきである
- 2 進めるべきではない
- 3 どちらともいえない
- 4 その他（具体的に _____)

問 16 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」について、優先させたいものの希望と現実を教えてください。(A、Bそれぞれの項目で、○はいくつでも)

	仕事	家庭生活	地域の生活	個人の生活	わからない
A 優先したいもの(希望)	1	2	3	4	5
B 優先しているもの(現実)	1	2	3	4	5

問 17 ワーク・ライフ・バランスという言葉についておたずねします。(○は1つだけ)

- 1 内容まで知っている
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない



CHECK

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは

仕事、家庭生活、地域生活、個人の啓発など、さまざまな活動を自らの希望に沿った形で、バランスよく展開できる状態のことです。

そうなることで、一人ひとりがさまざまな希望を実現させ、豊かさを実感すると同時に、職場は活力に満ちた企業・組織に、家庭生活は充実し、地域社会も活性化するなど、いい循環が期待されます。

問 18 あなたご自身のワーク・ライフ・バランス実現のための努力の状況について教えてください。(○は1つだけ)

- 1 かなり努力している
- 2 まあまあ努力している
- 3 あまり努力していない
- 4 ほとんど努力していない
- 5 努力をしていない

<問 18で「1」または「2」と答えた方におたずねします>

問 18-1 あなたがワーク・ライフ・バランス実現のために行っていることをお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 残業を減らす | 2 年休をしっかりと取る |
| 3 効率よく仕事をする | 4 自己啓発を進める |
| 5 地域活動等に参加する | |
| 6 その他 (|) |

問 19 ワーク・ライフ・バランス実現のために必要だと思うものをお答えください。
(○は3つまで)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 職場の理解 | 2 家族の理解と協力 |
| 3 社会構造・制度の変化 | 4 経済的な余裕 |
| 5 時間的な余裕 | 6 自分自身の意識の持ち方 |
| 7 その他 (|) |

問 20 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 やりがいのある仕事ができる | 2 賃金が上がる |
| 3 能力が認められた結果である | 4 家族から評価される |
| 5 自分自身で決められる事柄が多くなる | 6 やるべき仕事が増える |
| 7 責任が重くなる | 8 やっかみが出て足を引っ張られる |
| 9 仕事と家庭の両立が困難になる | |
| 10 その他 (| |
| 11 特にない | |
| 12 わからない | |

4 女性の活躍推進についておたずねします。

問 21 あなたは女性の仕事について、どのような形が望ましいと思いますか。(○は1つ)

- 1 女性は仕事を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは、仕事をする方がよい
- 3 子どもができるまでは、仕事をする方がよい
- 4 子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をする方がよい
- 5 結婚をしても、子どもができてもずっと仕事を続ける方がよい
- 6 その他 (具体的に

問 22 現在働いている方におたずねします。現在の職場で、仕事内容や待遇面で女性であるという理由で男性に比べて不利益を被ることがあると思いますか。(○は1つ)

- 1 不利益を被ることがあると思う
- 2 そのようなことはないと思う
- 3 わからない
- 4 その他 (具体的に

→ 次ページの間 22-1へ

<問 22 で「1」と答えた方におたずねします>

問 22-1 具体的にはどのようなことですか。(○は1つ)

- 1 賃金に差別がある
- 2 昇進に差別がある
- 3 能力が正当に評価されない
- 4 補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 5 女性を幹部職員に登用しない
- 6 結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある
- 7 女性は定年まで勤めにくい雰囲気がある
- 8 教育、研修を受ける機会が少ない
- 9 その他(具体的に)

問 23 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。(主なもの3つまでに○)

- 1 多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される
- 2 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる
- 3 女性の声が反映されやすくなる
- 4 国際社会から好印象を得ることができる
- 5 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
- 6 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる
- 7 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
- 8 男性の家事・育児などへの参加が増える
- 9 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる
- 10 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
- 11 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し家計負担及び公的負担が増大する
- 12 その他(具体的に)
- 13 わからない

5 地域活動へ参加状況についておたずねします。

問 24 あなたは、現在、地域の活動に参加していますか。(○は1つだけ)

- 1 参加している
 2 参加していない

→ <問 24 で「2 参加していない」と答えた方におたずねします>

問 24-1 地域の活動に参加しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 子どもの世話や老人の介護 | 2 仕事が忙しい |
| 3 経済的な余裕がない | 4 家族の理解がない |
| 5 必要な能力がない | 6 人間関係がわずらわしい |
| 7 自分の性格に合わない | 8 活動する仲間がいない |
| 9 役員や世話人にされそうだから | 10 参加したいものがない |
| 11 その他 () | |

問 25 あなたは、どのような地域の活動に参加していますか。また、今後参加したいですか。(A、Bそれぞれの項目で、○はいくつでも)

	町内会活動	P T A 活動	子ども会、 青少年健全育成活動	老人クラブ活動	ボランティア活動などの 社会奉仕活動	文化活動(趣味、教養)	スポーツ・レクリエーション 活動	子育て支援活動 (グループ活動を含む)	その他()	どれにも参加したくない
A 参加している活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
B 今後参加したい活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

6 DV(ドメスティック・バイオレンス)についておたずねします。



CHECK

DV(ドメスティックバイオレンス)とは

配偶者や恋人などの、親密な関係にある男女間の暴力を言います。暴力の種類には、殴る、けるなどの「身体的暴力」、無視する、脅すなどの「精神的暴力」、性行為の強要などの「性的暴力」、生活費を渡さないなどの「経済的暴力」、交友関係を制限するなどの「社会的暴力」などがあります。男性から女性への暴力が多くなっていますが、女性から男性への暴力の被害もあります。また、近年では高校生や大学生などの若いカップルの間で起こる『デートDV』も問題になっています。

問 26 男性・女性に関わらず、おたずねします。あなたはこれまでに、配偶者や恋人などから次にあげるような行為を受けたことがありますか。(それぞれの項目で、○は1つずつ)

	全く無い	1、2度あった	何度もあった
医師の治療が必要となるくらいの暴行を受ける	1	2	3
医師の治療が必要とならない程度の暴力を受ける	1	2	3
ののしる、おどす、大声でどなるなどの言葉による暴力を受ける	1	2	3
何を言っても長時間無視し続けられる	1	2	3
交友関係や電話を細かく監視される	1	2	3
嫌がっているのに性的な行為を強要される	1	2	3
見たくないのに、アダルトビデオなどを見せられる	1	2	3
生活費を渡されない	1	2	3

---> **<問 26で「1、2度あった」「何度もあった」に1つでも○をつけた方におたずねします>**

問 25-1 そのような行為を受けた後、だれか(どこか)に打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 親や親戚などの身内 | 2 友人、知人 |
| 3 役所の窓口 | 4 警察 |
| 5 法務局 | 6 弁護士 |
| 7 医師 | 8 女性相談所・女性相談員 |

--- 9 だれにも相談しなかった

10 その他 ()

---> **次ページの間 26-2へ**

<問 26-1で「9 だれにも相談しなかった」と答えた方におたずねします>

問 26-2 だれにも相談しなかった理由は何ですか。(すべてに○)

- 1 どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかった
- 2 恥ずかしくてだれにも言えなかった
- 3 相談してもムダだと思った
- 4 相談したことがわかると、仕返しされると思った
- 5 自分さえ我慢すればいいと思った
- 6 世間体が悪い
- 7 他人を巻き込みたくなかった
- 8 そのことについて思い出したくなかった
- 9 自分にも悪いところがあると思った
- 10 相談するほどのことではないと思った
- 11 その他 ()

問 27 配属者や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス:DV)に対して、行政はどのような対応をする必要があると思いますか。(○は3つまで)

- 1 広報やパンフレットなどで、啓発をする
- 2 DV被害者のための相談体制を整える
- 3 DV被害者が逃れるための緊急一時保護施設(シェルター)活動を支援する
- 4 DV被害者から逃れた人が自立して生活できるよう支援する
- 5 DV被害者に対する(自立支援のための)カウンセリング体制を整える
- 6 加害者に対するカウンセリングなど、再発防止に向けた取り組みを進める
- 7 男女の人権尊重について、学校や職場において啓発する
- 8 その他(具体的に)

<問 30 で「3」または「4」と答えた方におたずねします>

問 30-1 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていないと思われる理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 市議会や行政などの政策方針決定の場に女性が少ないから
- 2 女性の意見や考え方に対して、行政側の関心が薄いから
- 3 女性からの働きかけが十分でないから
- 4 女性の意見や考え方が期待されていないから
- 5 女性自身の関心や意識が薄いから
- 6 わからない
- 7 その他 ()

9 男女共同参画に関する考え方についておたずねします。

問 31 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。あなたなら、どんなことができると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする
- 2 「男らしく、女らしく」ではなく「その子らしく」子育てをする
- 3 学校では、PTAや保護者会で男女平等について取り組む
- 4 職場で男女平等意識を浸透させる
- 5 地域(町内会など)では、古い慣習を見直し、男女が平等に活動に参画するよう取り組む
- 6 男女共同参画について学ぶ
- 7 市の事業に参加して理解を深める
- 8 その他 ()

問 32 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉をこれまでみたりきいたりしたことはありましたか。(○は1つだけ)

- 1 内容まで知っていた
- 2 聞いたことがあった
- 3 知らなかった

